

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年10月31日

上場会社名 株式会社日本エム・ディ・エム 上場取引所 東
 コード番号 7600 URL <http://www.jmdm.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大川 正男
 問合せ先責任者(役職名) IR室長 (氏名) 棟近 信司 (TEL) 03-3341-6705
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	9,989	12.8	927	△12.4	916	△12.1	721	△28.1
2022年3月期第2四半期	8,858	14.3	1,058	28.4	1,042	29.4	1,003	90.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,558百万円(130.2%) 2022年3月期第2四半期 1,111百万円(221.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	27.35	—
2022年3月期第2四半期	38.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	29,424	23,731	80.2
2022年3月期	27,342	21,491	78.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 23,591百万円 2022年3月期 21,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2023年3月期	—	0.00			
2023年3月期(予想)			—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,800	13.6	2,000	△24.9	2,050	△20.9	1,450	△32.1	54.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	26,475,880株	2022年3月期	26,475,880株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	92,207株	2022年3月期	92,179株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	26,383,693株	2022年3月期2Q	26,383,792株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、2022年11月11日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料を開催当日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
販売実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は9,989百万円（前年同四半期比1,131百万円増、同12.8%増）、営業利益927百万円（前年同四半期比131百万円減、同12.4%減）、経常利益916百万円（前年同四半期比126百万円減、同12.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益721百万円（前年同四半期比281百万円減、同28.1%減）となりました。

日本国内では償還価格の引下げが行われ症例単価は下落したものの、前年同四半期から獲得症例数が伸長し、売上高は5,805百万円（前年同四半期比339百万円増、同6.2%増）となりました。米国では前年同四半期と比較し、前年から継続し拡大した顧客基盤の寄与により獲得症例数が増加したことから、米国の外部顧客への売上高（USドル）は前年同四半期比1.9%増となり、円換算後では円安の影響により23.3%増の4,184百万円となりました。

人工関節分野は、日本国内において償還価格の大幅な引下げが行われたものの獲得症例数が増えたこと、また急激な円安の影響により米国売上（円換算後）が大幅に増加したことから、日本国内及び米国の売上高合計は前年同四半期比15.7%増（日本3.7%増、米国23.3%増）の6,393百万円となりました。（ご参考：前年同四半期の米国売上の換算レートは1USドル110.21円、当第2四半期は同133.47円）

骨接合材料分野は、「ASULOCK」及び「Prima Hip Screw」の売上が堅調に推移したことなどから、日本国内の売上高は前年同四半期比8.5%増の1,922百万円となりました。

脊椎固定器具分野は、日本国内において「KMC Kyphoplasty システム」の売上が引き続き順調に推移し、また「Pisces スパイナル システム」の売上が堅調に推移したことなどから、日本国内及び米国の売上高合計は前年同四半期比9.7%増の1,614百万円となりました。

売上原価は、円安及び日本国内における償還価格の引下げの影響などにより、売上原価率が33.7%（前年同四半期は32.2%）となりました。

販売費及び一般管理費合計は、日本国内の体制強化に伴う人件費等が増加したこと、米国売上の増加に伴い支払手数料（コミッション・ロイヤリティ）が増加したこと、また円安の影響で米国での費用（円換算後）が増加したことから全体で5,691百万円（前年同四半期比15.1%増）となり、売上高販管費率も57.0%（前年同四半期は55.8%）となりました。

営業利益は、売上高は増加したものの、円安の影響により、売上原価率が上昇したことに加えて販売費及び一般管理費の増加により、927百万円（前年同四半期比12.4%減）となりました。

経常利益は、還付税金14百万円、受取保険料13百万円など営業外収益を39百万円計上し、持分法による投資損失26百万円など営業外費用を49百万円計上した結果、916百万円（前年同四半期比12.1%減）となりました。

特別損益は、受取補償金25百万円、事業損失引当金戻入額12百万円の37百万円を特別利益に計上し、医療工具などの固定資産除却損21百万円を特別損失に計上しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、上記の結果に加え前期に債務免除益303百万円を特別利益に計上したことなどから、前年同四半期比28.1%減の721百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①日本

売上高は5,805百万円（前年同四半期比6.2%増）、営業利益は463百万円（前年同四半期比30.6%減）となりました。

②米国

売上高は5,889百万円（前年同四半期比12.6%増）、営業利益は389百万円（前年同四半期比8.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ2,081百万円増加し、29,424百万円となりました。主な増加は、商品及び製品1,258百万円、原材料及び貯蔵品774百万円であります。

負債合計につきましては、前連結会計年度末と比べ158百万円減少し、5,692百万円となりました。主な減少は、長期借入金231百万円であります。

また、当第2四半期連結会計期間末の有利子負債（短期借入金、長期借入金及びリース債務の合計額）から現金及び預金を控除した純有利子負債は△985百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ2,240百万円増加し、23,731百万円となりました。主な増加は、為替換算調整勘定1,661百万円、利益剰余金403百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年4月28日に公表いたしました2023年3月期通期連結業績予想を修正いたしました。具体的な内容につきましては、本日（2022年10月31日）公表いたしました「2023年3月期第2四半期連結業績予想と決算値の差異、及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,590,849	2,617,844
受取手形、売掛金及び契約資産	5,212,555	4,638,552
商品及び製品	8,186,658	9,445,221
仕掛品	497,823	661,839
原材料及び貯蔵品	1,410,927	2,185,158
その他	149,211	480,029
貸倒引当金	△1,386	△1,165
流動資産合計	18,046,638	20,027,480
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	728,450	811,511
機械装置及び運搬具（純額）	350,978	365,946
工具、器具及び備品（純額）	4,691,605	4,764,748
土地	1,953,479	1,959,101
その他	48,173	10,214
有形固定資産合計	7,772,687	7,911,522
無形固定資産	291,960	298,951
投資その他の資産		
投資有価証券	—	36,202
関係会社出資金	174,887	159,767
繰延税金資産	971,990	907,610
その他	84,558	82,815
投資その他の資産合計	1,231,435	1,186,395
固定資産合計	9,296,083	9,396,868
資産合計	27,342,722	29,424,349

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	785,671	1,049,758
短期借入金	557,046	588,406
リース債務	33,163	21,495
未払法人税等	266,440	206,385
未払費用	512,569	511,653
未払金	189,283	144,553
賞与引当金	194,015	166,895
役員賞与引当金	65,200	21,831
事業損失引当金	65,000	42,950
その他	231,291	117,166
流動負債合計	2,899,680	2,871,095
固定負債		
長期借入金	1,247,662	1,016,179
リース債務	10,875	5,976
退職給付に係る負債	1,023,546	1,052,863
役員株式給付引当金	88,322	95,180
資産除去債務	29,201	29,357
長期預り金	8,000	8,500
繰延税金負債	544,310	613,622
固定負債合計	2,951,919	2,821,679
負債合計	5,851,600	5,692,775
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,001,929	3,001,929
資本剰余金	2,587,029	2,587,029
利益剰余金	14,550,073	14,954,026
自己株式	△111,940	△111,981
株主資本合計	20,027,090	20,431,002
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	—	132,578
為替換算調整勘定	1,351,922	3,013,204
退職給付に係る調整累計額	7,429	14,402
その他の包括利益累計額合計	1,359,352	3,160,185
非支配株主持分	104,678	140,385
純資産合計	21,491,121	23,731,573
負債純資産合計	27,342,722	29,424,349

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	8,858,500	9,989,631
売上原価	2,856,569	3,370,648
売上総利益	6,001,931	6,618,983
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	175,179	208,687
販売促進費	54,041	53,800
広告宣伝費	32,284	35,726
給料及び手当	1,619,998	1,796,693
退職給付費用	51,105	49,982
法定福利費	149,501	161,265
福利厚生費	102,781	133,433
貸倒引当金繰入額	△83	△221
旅費及び交通費	63,927	110,550
減価償却費	597,522	682,900
租税公課	81,930	71,407
研究開発費	237,573	293,237
支払手数料	1,132,091	1,409,215
その他	645,873	685,253
販売費及び一般管理費合計	4,943,728	5,691,934
営業利益	1,058,203	927,049
営業外収益		
受取利息	64	49
為替差益	117	—
受取手数料	6,018	2,844
受取保険金	—	13,220
その他	5,635	23,174
営業外収益合計	11,834	39,289
営業外費用		
支払利息	13,905	10,318
為替差損	—	980
持分法による投資損失	3,393	26,145
シンジケートローン手数料	3,160	4,161
その他	6,660	8,106
営業外費用合計	27,119	49,712
経常利益	1,042,918	916,626
特別利益		
事業損失引当金戻入額	—	12,797
受取補償金	—	25,000
債務免除益	303,474	—
特別利益合計	303,474	37,797
特別損失		
固定資産除却損	20,111	21,824
特別損失合計	20,111	21,824
税金等調整前四半期純利益	1,326,281	932,599
法人税、住民税及び事業税	304,484	228,757
法人税等調整額	10,294	△25,129
法人税等合計	314,778	203,627
四半期純利益	1,011,502	728,971
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,133	7,492
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,003,369	721,479

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,011,502	728,971
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△2,788	132,578
為替換算調整勘定	94,518	1,689,496
退職給付に係る調整額	7,981	6,972
その他の包括利益合計	99,711	1,829,047
四半期包括利益	1,111,214	2,558,019
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,101,370	2,522,312
非支配株主に係る四半期包括利益	9,843	35,706

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響)

当第2四半期連結累計期間における会計上の見積りは、四半期連結財務諸表作成時に入手可能な情報に基づいて合理的な金額を算出しておりますが、新型コロナウイルス感染症の今後の感染拡大や収束時期には不確実性があることから、新型コロナウイルス感染症の感染状況や経済環境等が現時点の想定と乖離する場合には、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を与える可能性があります。

なお、前連結会計年度末時点の仮定から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	5,466,092	3,392,408	8,858,500	—	8,858,500
外部顧客への売上高	5,466,092	3,392,408	8,858,500	—	8,858,500
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,838,626	1,838,626	△1,838,626	—
計	5,466,092	5,231,035	10,697,127	△1,838,626	8,858,500
セグメント利益	667,721	425,896	1,093,618	△35,415	1,058,203

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△35,415千円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米国	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	5,805,241	4,184,390	9,989,631	—	9,989,631
外部顧客への売上高	5,805,241	4,184,390	9,989,631	—	9,989,631
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,704,983	1,704,983	△1,704,983	—
計	5,805,241	5,889,373	11,694,614	△1,704,983	9,989,631
セグメント利益	463,447	389,418	852,866	74,183	927,049

(注)1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去74,183千円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称及び品目		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	前年同四半期比
		金額(千円)	(%)
医療機器類	日本	5,921,942	105.8
	人工関節	2,226,200	103.7
	骨接合材料	1,922,399	108.5
	脊椎固定器具	1,596,866	109.5
	その他	176,475	80.4
	米国	4,184,390	123.3
	人工関節	4,167,225	123.3
	脊椎固定器具	17,164	128.7
小計(A)		10,106,332	112.4
売上控除(B)		△116,700	—
合計(A)+(B)		9,989,631	112.8

(注)セグメント間の取引については相殺消去しております。なお、前年同四半期において区分開示しておりました「日本 人工骨」は金額の重要性が低下したため、第1四半期連結累計期間より「日本 その他」に含めて開示しております。